

1 令和6年度の成果と課題

- ・生活様式の変化により、調理の基礎を学ぶ上での器具の扱い方や後片付けなど、家庭で使っているものとの違いを実感しながら、経験のない設備の扱い方を学ぶことで、児童が考えながら活動できるよう取り組む。
- ・ICT 機器を活用することで自分の考えの発表や他者との考えの比較・共有、グループとしての考えのまとめが取り組みやすくなった。
- ・調理、裁縫ともに児童の興味、関心は高く、実習に熱心に取り組む児童が多く見られる。それらの活動を通して伝統文化や環境問題へ思い至れるような授業の内容を検討することが必要である。

2 授業改善のポイント及び改善策

1 家族・家庭生活

- ・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや自分の役割を考えさせ、家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることを理解する。
- ・おおたの未来づくりに関わることで地域の人たちの協力を実感する。

2 衣食住の生活

- ・健康・快適・安全で豊かな生活に向けて考え、工夫できるような授業。
- ・宿泊行事での飯盒炊爨などを考慮した実習、進級・進学を意識した製作活動など、身近な題材を取り扱う。中学校と情報共有することで必要な技能を身に付けさせる。

3 消費生活・環境

- ・物の選び方、買い方を理解させ、限りある資源を消費して生活していることを学び、環境への配慮を意識する。
- ・単元を組み合わせることで、具体的に物を買う場面を設定し、物の情報を提供する。